

ハートコミュニケーション

栄八通信

第 6 号



武雄市議会議員
発行者 宮本 栄八
武雄町野間 TEL・FAX23-0750
発行部数 11,200部

競輪場改修記念

「武雄競輪グラフィティ」

武雄市政と競輪事業との関係を考査する

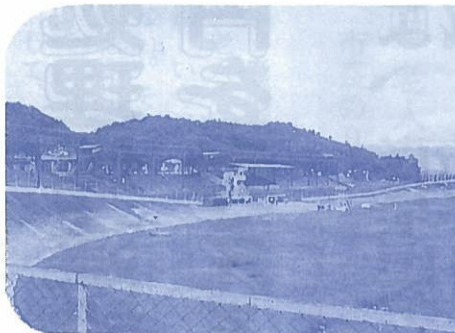
競輪場の歴史をさぐる

競輪は、市になる前から

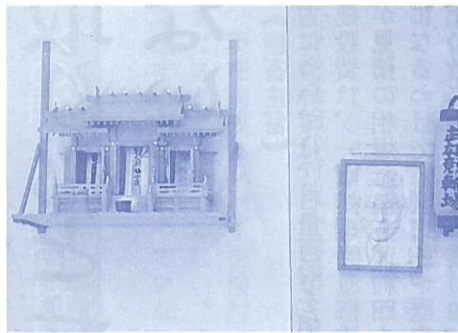
武雄市を、全国的な視点から見た場合、温泉地や陶芸の里という切り口で分ければ、全国無数の自治体の中の一つである。

しかし、競輪の開催地という分け方ならば、全国に五十の自治体しかなく、競輪をやらぬ市民からすれば、あっても無くても関係ないと考える人も多いと思います。が、市民の思っている以上に、市政運営に影響しているわけです。

この競輪事業は、武雄が市制施行で一町六村が合併する前の武雄町時代に開始。当時の江口文雄町長が、昭和二十三年に国で、自転車競技法が成立したのを、機敏にとらえ、翌年には、総理府告示第160号により、競輪場設置認可を受け、昭和二十五年に、如蘭塾の運動場跡を借りて、第一回を開催し現在四十六年目を迎えている。



開設当時の競輪場（昭和25年）



事業本部室には、売上向上を願う江口氏のレリーフと神棚がある。

発見！
競輪にプリティリーグがあった。

アメリカ映画で、昔、野球のプリティリーグに、女性の野球選手によるプリティリーグがあったことが映画化され、歌手のモドンナが出演していることもあって話題をあつめたのは、ご存知と思う。

競輪の歴史を調べていて、武雄競輪にも、昭和三十九年までは、女子競輪選手制度があったということだ。

五年前に、私が四国の新居浜でJ.Cの会合があり、会場までのタクシーがあまりこないのので、地元のおばさんの車に乗せてもらった。私が九州の武雄から来たと言った。その女性は、「昔、武雄競輪で走っていた。」と言われ、何のことを言っているのか？と思っていたが、これを調べて理解した。

最近、競馬やボート等の選手に女性が進出しているし、オリンピックでは、女子自転車競技も盛んになってきたので、また、いつか女子競輪が復活すれば、おもしろいと思うわけだ。



あの佐々木選手や坂本選手のおかあさんも女子競輪選手だったという。

競輪と市の財政

昨年、水道料値上げの時、その理由の一つに、競輪事業特別会計から、最近、約四億円を市の一般会計に繰り入れていたが、平成八年度は、一億ぐらしか見込めないうとして、値上げされたが、このように、市の大きな収入源だ。

（ここで、一言つけ加えておくが今年度も、市の見込み一億円ではなく、四億円以上繰り入れていることを、市民にお伝えしておくが、私が何を言いたいのか解ると思う。）

しかし、競輪事業も、神棚を置くのを見てもわかるように、商売である以上、浮き沈みがある。

昭和四〇年一億〇千六百万円
昭和五〇年九億〇千五百万円
昭和六〇年二億〇千〇〇〇円
平成 7年三億〇千〇〇〇円

以上のように見ると、偶然かもしれないが、十年サイクルで好況があるようだ、市政に対する影響から見ても、競輪繰り出しの多い昭和五〇年度には、県内一の武雄市文化会館が完成している。また反対に、繰出し〇円の昭和六〇年度あたりは、市が、自主再建に入り、緊縮財政をよぎなくされ、特別職の報酬カットや消防団員の人員削減などがされたという。このようなことから、私も市議になって、競輪事業の重要性を認識したわけで、以前は競輪帰りの車の渋帯を見て、腹がたっていたが、今は、ありがたいとさえ思うこともある。

また、競輪開催地には、日本自転車振興会等から、補助金があり「武雄市物産会館」「医師会館」「日輪荘や同バス」も活用している。ところで、売り上げに対し、武雄市への収入は、五％程度で、新聞の売上げを見て計算できる。

今回の改修の内容

今回、八月から十一月まで四ヶ月開催を中止して、改修に入った。月に六日開催するから計二十四回分は、十二月から三月の年度内に開催するので、年間の開催日数は同じなので、ある程度の売り上げはあると思う。

【競走路の改修】

走路に、ひび割れが生じているため、掘り返して、目の荒いコンクリートから、ウォークトップという表面の四層で四十二センチ厚さで作る。また、バンクの傾斜など専門的のため、業者は国内に二社しかなく、武雄は、日本舗道(株)と二億二千万円で契約している。

【電光掲示板】

老朽化していて、今後、レースが枠番制に車番制が加わるので、それにも対応すべく取り替える。

最近、絵の出るオーロラビジョンがやりだが、それは三億円も、その電球も高額で寿命がぐれば、球の交換等の維持費が大変との現場の意向で、現在と同様の字が出るものの大型を設置する、ちなみに金額は、一億円で、ナショナルの製品だ。

【食 堂】

この食堂、四十六年の歴史をもつ昭和の生き証人のような存在だ。長屋作りの建物に数件の店が入っているが、メニューや値段は、ほぼ同じ、狭いわりに、ラーメン・うどんなど多くの種類を作る。

本場の来場者の減少や、競輪に金を使った人が食費をけずるので、売上げも十分でなく、これまで設備に金をかけてなく、高度経済成長前の日本をかいま見ることのできる、数少ないもので、私ですらノスタルジーを感じるものであった。

これも老朽化や、客の嗜好の変化もあり、建て替えをする。また、各店が共同化したらとの意見もあ

たが、各店が人間関係を大切にしていたという歴史から、今回も現状の形で行くという。市民の方も、各店の味くらべに行ってみたら、いかがでしょうか！



売店風景（昭和36年頃）



解体前の食堂



久留米梅満場外(サテライト久留米) 平成2年7月開設

競輪事業の今後について

売上げについては、ふるさとダミー以来、順調に伸びている。

その理由として、三ヶ所の場外売場と電話投票の売り上げが伸びているからです。売上げ比は、本場が五〇％、場外が四〇％、電話が一〇％となっています。また場外は、サテライト武雄の他、久留米(梅満)と長崎(飯盛町)にもっています。だから、売上げをふやす為には、どこかに場外を作って行くことが必要です。また、場外や電話投票は客単価が低いわりに手数料が高いので、本場の客単価が約三・五万円なので、本場への来客も増していく必要があります。その前に、市民の競輪に対する理解と関心が必要だと思えます。

特集 コーナー

し尿処理場建設 40億円を考える

うまくやれば、飛龍窯 の3億円が取りもどせ るかもしれない!

一、処理場の概要

まず、し尿処理場は、現在、小桶の東部に、昭和五十四年に建設され、くみ取り便所の汚物や、家庭浄化槽で分解できなかった汚泥を合併浄化槽の親分みたいな施設で処理して、三PPMで川に流している。そして、これは、武雄と山内町で組合を作って、職員は事務職三名、現場五名で運営。

二、処理場の現状

処理能力は、日量七〇Klであるが、現在九〇Klの持ちこみがあり能力をオーバーしている為、一時貯留して、土日収集が無い時の分で平均化して処理しているが、慢性的に処理能力を超えていると言ふ。また、処理場の耐用年数といわれる、十五年〜二十年を迎ええていると言ふ。

三、処理場建設計画

結局、処理能力や耐用年数の問題から、し尿処理場を再建設する計画が示された。また、場所は現在の位置にしたいという。処理能

力については、日量百Klを想定し、建設費は、一Kl処理当り四千万円が見積の相場だから、約四十億円になるわけで、図書館や歴史資料館の数倍にもなる事業。

また、「膜分離方式」を採用。従来、沈殿や分解した、うわ水が次々に進んで浄化するのを、フィルター膜で、分離を早くする方式で、場所が節約できるのが特徴。

四、業者選定の方法

市営住宅建設でも二〜三億の入札、その数十倍もの施設だから、業者選定にあたっては、十分に調査・研究・比較検討が絶対必要だ

- ① 指名競争入札の指名業者数は八社で、最低価格業者と契約
- ② 膜分離方式のし尿処理場を建設した実績のある業者

との方針で、来年度入札する予定。以上が現在の最新情報である。

五、私が調査した動機

私が、この問題を研究しようと

- ① 建設費四〇億と大規模事業
- ② 富永議員が、一般質問の中で日本鋼管がすぐれた技術をもっているという発言。
- ③ また、議員の雑談の中では、クボタが有力ではなからうか? などと話をされているのを聞いて、どういう根拠で言われているのか、自分自身で把握しないと発言できないと思ひ研究することとした。ちょうど、行政規模の同じ鹿島市も、処理場建て替えの動きがあるということで、調査した。

鹿島市のし尿処理場建設から学ぶ教訓!

鹿島市の状況

鹿島市の場合、藤津郡と共同のため、武雄市より搬入量が多く能力オーバーの為、一部海洋投棄までしている。しかし、国際海洋条約で海への投棄が禁止されることもあり、また耐用年数も迎えているので、その緊急性は武雄より切実。そこで一足早く建設計画に入り、入札業者選定も終了。

今、十一月には、建設工事に着工し、本体は平成十年、管理棟や周辺整備を十一年度終了する予定。

鹿島の事例に学ぶ 意外な事実

結論から言えば、鹿島・藤津衛生処理組合の決定した内容は、
処理方式 膜分離方式
入札業者 日本鋼管
落札金額 十五億円 110Kl

という事だが、驚くことは、富永議員が技術力があると言っていた日本鋼管が業者を選定されて、さらに驚くことは、落札価格が、十五億と私が、市の担当者から聞いた、前述した、一Kl当り四千万円、一〇〇Klで、建設総額

四〇億円の半分以下であることだ。これは、研究して、武雄市の計画にも役立ててねばと思った。

業者選定に対する
鹿島市の対応

ところで武雄市では、来年度の入札に向けて、指名業者(入札に参加できる業者)のリストアップを進めている途中ということだ、そこで私は、鹿島で十五億で入札した日本鋼管はリストに上っているか、関係者に尋ねた処、今の時点では上っていないという。「え…なんで…」と思ひ、その理由を尋ねたところ、

【前例より能力で競争】

①第一に、日本鋼管は膜分離方式の実績がないと言ったことだった。また、鹿島市においても、指名業者選定の初期には、日本鋼管については、武雄市と同様の理由で、上ってなかったらしい。

しかし、他の県での実績をくわしく見ると、価格や内容も良いと言ふことが解り、また、膜方式もその専門の三菱造船エンジニアリングと技術提携して十分に対応できるということだ、処理組合加入の首長の話し合いで、指名業者を五社から八社へふやし、その中に日本鋼管も入れて、競争させたということのようだ。

【建設費の二重価格】

②第二に、言われるのが安い金額で、本当にちゃんとした施設が作れるのかという疑問である。調べたところ、多くの業者から建設の見積を取ると、やはり前述したように一〇〇Klの処理能力の見積書がくるという。

しかし、実際の入札になれば、約二五億〜三〇億円程度で落札されているらしい。スパーで買物する時の、メーカー希望価格と店頭価格と考えると、差があっても当然で、多くの業者が見積より

も下げて来るのであれば、それが実質相場であると思われる。普通は、施設建設に当っては、まず設計書を別に作り、それを建築業者に示して入札。また、基準の単価等があるので、そう極端な差は生じてこない。しかし、処理場などは、特殊施設であり設計書も落札業者が作成するようになってくるので、やり方によっては、価格に差が出る可能性は十分にあると思われる。ただし、処理能力や安全性また耐久性などの必要條件は、入札前に提示するから、実

質の機能面には問題はないという。【維持管理は同じ】
③第三に、安い金額で落札だから耐久性や後の維持管理に問題があるのでは、とも考えられるが、設計書を見れば、内容や材質もわかるし、特に他の施設と変わらないという。また、特に維持方法が変わるわけではなく、現在の現場職員を減らさない以上、変化はないということだった。

私が主張したいこと

以上、調査して来たのは、次の事をうったえたいからである。し尿処理場の建設は、莫大な金がかかるが、下水道が完備しない以上、作らざるをえない。そこで、せつかく、鹿島市が見積の三分の一の十五億円で発注しているのに、武雄市の場合、今のままの単純な入札基準の堅持で行くと、私の勝手な想像ではあるが、良くて二五億円、悪ければ三〇億円で契約すると心配している。

二重価格の指摘される現状であるから、どうか、もう一度、このように落札額に大きな差のある処理場の指名業者の検討を加えてほしい。ひょっとしたら、飛龍窯建設の三億円ぐらい、すぐ取りもどすかもしれない。また、地元業者なら保護育成も必要だが、東証一部の大手なら、厳しい競争も市民にとっては有益だと思う。

【追伸】

後日、業界情報を調べていると、同一物件の入札額の最高と最低は、ごみ処理施設で四倍ありし尿処理施設では、六倍も違っているものもあった。また、平成元年から平成七年の間、建設資材などは、一割しか上昇していないのに、建設費は、二倍になり、一部業者の寡占状態にあるようだ。



各地の処理場比較

竜ヶ崎 102Kl 22億24万円 日本鋼管(株) H. 5	都城 110Kl 34億64万円 (株)クボタ H. 6	飯塚 99Kl 31億74万円 (株)クボタ H. 8	豊前 96Kl 29億64万円 (株)クボタ H. 7
--------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

9月定例議会 9/5〜9/24

私の一般質問

① 大型事業の実現に向けて

市長本気で市民の声を聞く気なし

① シュミレーションは

いつどんな形で出すのか
今の市政は、十分な計画行政がなされず、大型事業の取捨選択ができていない。以前も同様の質問をしたが、その時、「皆さんと大いに議論したい。その為にはデータが必要だから、どんどん出して行きたい。」と答えられた。しかし、いっこうに、データが出されていないが、どうなっているのか？

【回答主旨】

データを、出して行くことに変わりがないが、ただ、具体的に検討していない事については、データの一人歩きや、市民に混乱をまねくとの主旨。

【反論】

そしたら、早く検討してくれ、一人歩きするデータさえないのではないのか？

② 市民は、どのような形で

議論に参加できるのか？
では、市長は市民の声を聞きながら市政の決定にあたる主旨の発言をされる。では、一般の市民は、どのような形で、政策や事業について、発言できるのか？

【回答主旨】

現在、すでに、審議会や委員会等の市民の声を聞くシステムはあ

【反論】

私が言いたいのは、他町での場合でも、審議会等でも、区長や団体の長など、個人発言のしにくい

人の会ばかりで、それが硬直しているから、何回も質問している。

② 環境問題について

早急に方向性をはっきり示し着実に実施すべき！

① ゴミの減量化

武雄市は、アルミやビン類は、分別リサイクルがされず、地中に埋め立てられている。鹿島においては、七年度より実験的に分別し、ゴミ減量化をはかっている。

一方、武雄市は九年度の国のリサイクル法に合わせて、実施したいと言うことで、「ごみ減量等推進協議会」を組織し、協議するとの方針と思う。

六月議会で、九百万の予算がすでに付いているが、具体的に考えていないが、状況はどうか？

また、その協議会は、ゴミ分別のみでなく、ゴミの固形燃料化などの総合的な対策を議論するのか？

【回答主旨】

現在構成メンバーを検討中で、まだスタートしていない。また、協議する内容も決っていない。

水の問題は、次回特集へ

③ 老人福祉について

市長のリーダーシップと決意が必要だ

① 老健施設の早期実現

老人の家庭介護が、核家族化で難しい今日、施設介護がさけられない。そして、その受け皿は、老健施設しかない。

そこで、六月議会の私の質問に対して、市は、必要性十分に認識

し、検討に入りたいとの答弁であったが、その後、医師会等と話し合いがなされたのか？

【回答主旨】

老健施設の必要性は「武雄市老人保健福祉計画」でも明記しているが、まだ、具体的にはやっていない。

② シルバー人材センターの運営

法人化には、市の協力が必要

シルバー人材センターは、老人の就業の確保やいきがい対策として、大変有益な事業と思う。

また、これは、法人化すれば、国からの補助金等の援助が受けられ、センターの一層の活性化が図られる。しかし、法人化にあたっては、業務の請負額などのハードルがあるので、市としても積極的に仕事の発注をしてはどうか？

【回答主旨】

無理しても、発注していく。

他議員の質問

Q 学校給食の民間委託に伴う食中毒等の事故の責任は、市・業者どちらにあるのか？

A 市教育委員会が責任を負う。

Q 乳幼児の医療費や薬剤費は、市役所に申請すれば無料になるが、いそがしい母親も多いので病院の窓口で無料化はできないか？

A 市外の病院に行く人も多いので県内、同一歩調を進めたい。今、県でも集約がなされている。

Q 公園や保育所等の砂場の管理は A 公園は、時々砂を入れ替えるが基本的には、使用後の手洗を。保育所等については、夜間シート等をおかけるよう指導してゆく。

Q 韓国青少年のホームステイが活発に行なわれているが、受け入れ先の家庭に負担が多い？

A 武雄市少年の船協と協議する。

Q おつば山の神籠石の整備は？

A 私有地の部分も多いので、今後の補助制度を活用して、土地の公有化や整備をはかる。

Q 県道（武雄・伊万里線）整備が進む川良地区において、それに接する市道の改修が必要では？

A 市道も広範囲であり一度には無理、交差点付近だけでも、地元

の協力を得てやりたいと考える。

Q 農業振興のため、指導者の育成が必要だ、その中核となるのが「認定農業者」だが、数が少ない認定の基準を上げて増しては？

A 今の農業所得八百万円以上等の基準は、県に合せている、またそのくらいの所得がなければ他の人を指導できない。

9月補正予算の事業と内容

【歳入の状況】

不景気のせい、市民税・固定資産税を合わせて、九千二百万円減収し、また、国からくる地方交付税も、国の財政が厳しい為か予定額よりも一億四千八百万円を減じる決定がなされるなど、合計約三億の減収となった。

そのため、市の借金六億・繰越金確定三億円、そして、競輪からの繰入れ金二億円を中心とした約十二億円から、減じた三億円を引いた九億円が補正歳入額。

【歳出の状況】

△主なものを説明してゆくと▽
①税金申告の時の混雑を解消するため、パソコンを十年リース
②農協スタンドの横にある倉庫を米麦の保冷庫に改造する事業
③若木町に、大楠公園などで売る漬物の加工場整備の補助
④古く危険な、ため池を改修する為の調査費。下西山と西真手野
⑤県立宇宙科学館の建設の為の山を造成する事業
⑥武雄温泉南口の自転車の駐輪場六十台分と駐車場三台分整備
⑦武内町の主要道路整備事業
⑧森の木伊藤山線と多々良線改良
⑨保養村前の市道と歩道の整備
⑩登校拒否の児童生徒の適応指導を清香奨学会施設で行なう。

⑩若木小学校のグラウンド整備で隣接する、里道を国から買う費用

⑪竹古場キルンの森公園管理費

【各事業の支出金額(単位万円)】

①七五 ②二八〇 ③一三三

④二一〇 ⑤二億五千〇五四〇

⑦一億六千〇三九〇〇⑧一五二

⑩四六八 ⑪三三三

まずは、お電話を

22-8711

市民参加の新コーナー

伝言板

おれにも言わせる市民のつぶやき

【武雄温泉新館について】

去る九月二十九日付の読売新聞に武雄温泉新館修復予定の記事が載っており、市当局も「新館は町の貴重な歴史・文化遺産」といっておられました。修復の件に関しては、観光温泉都市武雄のシンボル、武雄市の代名詞的存在であると思っております。それ故武雄温泉駅のプラットホームや武雄郵便局のポストの上にも模型が飾られ、市民挙げて武雄市のPRに努めておられますのに、現状では「一樓門をくぐるとボロ館があった」といった惨状では武雄市民として恥ずかしい限りであります。「企業の社会的責任」を自覚された修復決定は待ちに待った朗報。武雄市の明日の繁栄に繋がるものと確信しつつ、一日も早く修復されるよう期待しております。(橋町の男性)

【栄八から一言】

投稿者は、新聞を見て、市が修復を決定したように取られているようですが、まだ具体的にいつはいいません。

【飛龍窯のトイレについて】

過日、友人が登り窯見物に、貸切観光バスで行き、公衆トイレ(陳列館の中にある)に鍵がかかっていたので使用できず、観光客がカンカンになって怒っていた。

【保養村の広場の水飲み場のところ

に便器洗いのブラシとゴム手袋がぶらさげてあったが止めてほしい。

【各地を転動したが、水道料が高

いし、テレビも有線を引かないと見えないから、公共料金みたいなものだから安くならないか？

情報公開 (あれはどうなった) のコーナー

高架区画整理

【君子豹変】くんしひょうへん
前回の通信に、鉄道高架に関して、駅を市役所と交換する。

駅移転案が、JRや鉄建公団から、嬉野までのカーブの関係や、一度駅南は区画整理をし、減歩もされているなど、問題が多いとして、関係団体や県から賛同が得れない状態であったが、市長は市百年の大計として、駅移転案を堅持して行くと言明されたが、今議会の一転して「駅移転案はあきらめるとの答弁に、啞然とした。」



飛 龍 窯

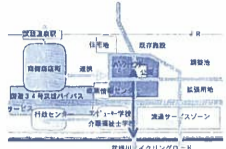
【責任転嫁】せきにんてんか
九月十二日に、キルンの森の完工式があった。焔博の閉幕が、公園の完成というふうな形だ。いろいろあった登り窯だが、完成した以上、文化や観光に十分に活かさなければ税金の無駄遣いになる。

第一回の登り窯まつりは、若手陶芸家の協力もあり、成功したと思う。今後の管理運営は、地元の方に、お願いする計画であるが、今度キルンの森の窯の使用料金には、飛龍窯についての使用料が決っていないなど、今後どう活用するかが不明確。



東 部 開 発

【朝令暮改】ちようれいぼかい
予算一千万円をかけて、東部開発計画書が策定された。その内容は、小楠側四十五haを、地元主導型の広域商業地区にする計画だ。さらに、今五百万円をかけて、水問題を調査している。商業者の一部については、概要の説明もしている。



今議会、し尿処理現場を建て替えるの件で、処理場が東部地区にある、東部開発をするなら、処理場の移転を考へてはの質問に、「東部開発は、二十年間先の話で、今は考へていない。」との答へにまた啞然。
一千五百万円は、どぶ金か?

県議会傍聴記

石丸博眞議ささいなことでもやじられる!

市議会の終了した、九月二十五日新聞に、当日、県議会の一般質問に地元選出の石丸氏が立つとの記事があり、県議会におじゃましました。

県庁の右手が議会棟でエレベーターで五階の議場まで上ったが、傍聴の案内がない? 大きな議場入り口が数ヶ所、しかし、ドアをいきなり開けて、へんな所なら大はじをかくかもしれないとびくびくしながら廊下一周してみせた。

【五里霧中】ごりむちゅう
図書館建設については、今年度建設準備までできて、計画づくりが進められていると思うが、一般市民から見れば、何をどうされているのか解らない。武雄テレビでは、図書館の専門家の人が、市民が作るものでなければ、など外国の例を上げて講演されているが、それを主催している行政からは、市民に対してのアプローチは無い。なんと今回、調らべるにはまとめられる予定という。



丹靑社というコンサルと、市若手職員を中心に検討中らしいが、少し変!

るようにとの質問だった。県の回答は、「その地区は、武雄市が計画する区画整理の範囲内だから、それに合わせて整備するとして、暗に市が区画整理をできないとしない」と県道整備ができないとの主旨。

また、朝日小学校の横の県道を高架して線路を越えて橋まで道路を整備する計画があるが、どうなっているかの質問がされた。

県の回答は、高橋に大きい道路を貫くには、家屋が密集して地元協力等の問題もある。当面は若木方向からは、北方へも通過できる、今後じっくり検討する。と、武雄市の一部で、今、人気沸騰中、原田土木部長が答えた。

【熱心な傍聴者がいるな……】
と思つたが、すぐ、これは県職員の担当係長クラスが、質問の変化にそなえて控えているのだと解つた。

【五里霧中】ごりむちゅう
図書館建設については、今年度建設準備までできて、計画づくりが進められていると思うが、一般市民から見れば、何をどうされているのか解らない。武雄テレビでは、図書館の専門家の人が、市民が作るものでなければ、など外国の例を上げて講演されているが、それを主催している行政からは、市民に対してのアプローチは無い。なんと今回、調らべるにはまとめられる予定という。

丹靑社というコンサルと、市若手職員を中心に検討中らしいが、少し変!

武雄市のマスコミを考察する

地方分権を進める必要ある近年やはり、新聞の地方欄は何といても、一番の地域の情報源だ。

数年前までは、春祭りやおはよう九官鳥の話ぐらいだったが、最近では、用途地域の変更や、国立病院問題では「市が自作自演」とまで書かれるぐらい。内部を調査した武雄の話題が、紙面を彩ることが多くなってきた。

この原動力になったのが、西日本新聞の蔵本記者だった。他の新聞社が昨年異動する中、彼だけが残っていた。この蔵本氏、武雄に赴任した当時は、「二石井市長を、地方都市にはめずらしい文化市長」と賞賛していた。しかし最近、痛烈な批判記事も多かったものの、武雄に関する情報を提供してくれた功績は大である。

しかし、蔵本氏が八月に本社に栄転した。私はこれで武雄の話題も、減少する。あとは、佐賀新聞の大坪記者に孤軍奮闘を願うしかないと思える最近であった。

この大坪氏も、私が市議になったころ、赴任された。「人のよいおじさん風」だが武雄の出来事はきちんと記事になっている。

【マスコミを考察する】
蔵本氏、武雄に赴任した当時は、「二石井市長を、地方都市にはめずらしい文化市長」と賞賛していた。しかし最近、痛烈な批判記事も多かったものの、武雄に関する情報を提供してくれた功績は大である。

自然石より重い発泡スチロール

駅の南口に、今度、有料駐車場と自転車駐輪場を作る。そして、その間仕切りに自然石を二十個使用し、予算八十二万円で整備すると

博推進室は、飛龍窯への案内看板が整備されていないとの、厳しい指摘を受け、発泡スチロールで手作り看板を急遽作成し設置。市民に対する有効性から考えれば後者が重い役割で、石割いや縦割り行政か?

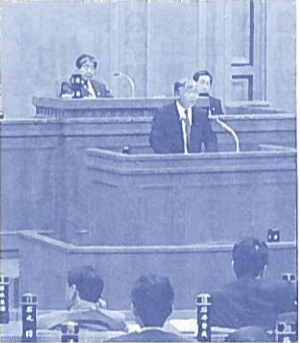


編集後記と今後のプラン

日本初めての小選挙が終つた。揺れ動いたようでも、表面上は、社会党の政策転換で社民党の議席が、民主、自民、共産に分割される結果に終わった。

私は、この選挙中、栄八通信作りにすぎた。私は市議には無所属で出ていたため、党対党の戦う今選挙では、市議会活動に支障になる事は、謹むことにした。

他の無所属議員は、ある党の方に協力して運動されているようだった。国政論議は、別の機会にするとして、今後のプランとしては、イズミ進出が、ほぼ計画どおりで決つたので、それに対する、地元商店の生き残り策の検討や、年末の方針を出す予定の国立療院の問題をもう一度、検討でなく、結論の観点から整理してゆく。



答弁はほとんど部長がする結論が解りにくい印象